

P.U.P. News

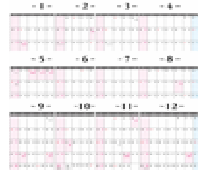


発行元：進路指導部

進路通信では、今月号から中高生の皆さんに勉強の**戦略**を『E判定からの大逆転勉強法』(中経出版)という本の中から引用し、具体的に紹介していきます。

今年はいつもの年と違う「5月連休」にしようと考えている人は、しっかり読みましょう。

目的を明確にし、戦略を練り、結果を出す！



<戦略の立て方>

1. まず最初に、入試までの日数を数える。
2. その日数を3 (序盤・中盤・終盤) で割る。
3. 何をすべきかを考える。

たとえばわかりやすく、入試までに残された日数が180日だったとします。

$$180日 \div 3 = 60日$$

序盤 → 1～60日目

中盤 → 61～120日目

終盤 → 121～180日目

具体的に英単語暗記を例にしてみると、

$$600単語 \div 60日 = 10単語/1日 (1日あたり10個覚える)$$

ということになります。そして機会あるごとに、成功する考え方を聞き、吸収していくようにしましょう。次のような具合に**潜在意識**を働かせます。

- 偏差値が高くなるような考え方を何度も聞く
- 高くなる考え方が当たりまえになる
- 高くなる潜在意識が心の中にできあがる
- 知らず知らずのうちに高くなる行動をとるようになる
- 高くなる習慣が身につく
- 入試本番に成功する！



～潜在意識のスイッチを入れる～

心というのは、自動誘導ミサイルのように、強く思ったことの答えを自動的に見つけようとする性質があるそうです。「合格できるとしたら、何をすればよいか」と考えるようにすると、よい「出会い」に恵まれます。受験は心理戦とも言われる所以(ゆえん)です。

《高校生へ》

これまで学校で先生方が授業やホームルームを通して話す内容を、どれだけ自分のものとしてきたでしょうか。3月の勉強合宿に参加した40名は、確実に掴んだことがあると思いますが、継続できていますか。紹介された本や具体例があるはずですが、進路通信では、1冊の本すべての内容を紹介できませんが、そのダイジェスト版スタイルでみなさんに刺激となるよう載せていきます。

さて、「勉強法を変えて、別人に生まれ変わるには」どうしたらよいでしょうか。



<S.Y.さんの例>



京大模試で、最低評価のD判定(得点率25%以下)だったS.Y.さん。そこから、わずか3か月でA判定に。その後も成績は伸び続け、京都大学(農学部)に余裕の合格を果たしました。しかし、本人も周囲も、本当に驚いたのは逆転合格よりもその**精神的成長**でした。

以前のS.Y.さんは、受験のプレッシャーから逃げるように、友達とダラダラ遊んでいるか、ゲームに夢中になっているか、そのどちらかでした。

本人は、受験勉強がうまくいかないのは、「(高校の)勉強が急に難しくなった」「授業がつまらない」「勉強法がわからない」ことが原因だと思っていました。しかし、それは表面的な原因に過ぎませんでした。根本的な原因は、コンプレックスや精神的未熟さにあったのです。

自信がなくて、自分のことが嫌い。いつも人の目が気になってしまう。やる気も湧いてこない。少しやる気になっても、すぐ冷める。意志も弱く、決めたことを続けられない。

その影響は、受験だけでなく、将来の不安にまで広がっていきます。

社会人になって、ちゃんと生活していけるのか、周り人間関係をしっかり結べるのか。良い結婚ができて、幸せな家庭を持てるのか……。

頭の中は、悩みでいっぱい。とても勉強どころではありませんでした。

…… (後略)

『E判定からの大逆転勉強法』(中経出版)より

そんな SY さんの心を覆っていた不安が消え、明るく前向きになり、自分への期待が高まってきたのは、信じられる**勉強法**を掴んでからです。

さて、これからの通信は、具体的な各教科の勉強法を紹介していきます。
5月号は「英語」です。まず、英語学習に大切な原則を5つ挙げておきます。

- 一、現代文を得意にすること
- 一、音読して、黙読して、聴いて、書くこと
- 一、目の前の1冊、1ページ、1文を仕上げること(そして**反復くりかえし**)
- 一、早めに英語構文を仕上げ、英文法に凝りすぎないこと
- 一、英単語の暗記は基本ですが、そのみにエネルギーを注ぎすぎないこと

「大学受験は、英語で決まる」。とくに難関大学を突破するには、このことは過言ではありません。それでは、英語学習の進め方についての話に入ります。

次の5つのトレーニングが必要です。

- ① 音読する → 速読力(英語を速く読む力)をつける
- ② 分析する → 精読力(英語を正確に読む力)をつける
- ③ 書く → 英作文力(英語を正確に書く力)をつける
- ④ 聴く → リスニング力(英語を正確に聴く力)をつける
- ⑤ 解く → 本番力(問題を解く力)をつける

①の**速読力**とは、約500語の英語長文の内容を、約4分以内に正確に読み取れるということです。つまり、1分間あたり120語以上のスピードで英文を読める力が必要です。毎日30分、音読を必ずやるのが大切です。

音読が、速読力・英作文力だけでなくリスニング力を飛躍的にアップさせるのです。

②の**精読力**とは、英語を日本語に正確に訳す力です。そのためには、英語長文(構造・骨組み)を正確に読み取れるようにすることです。

たとえば、次の英文が訳せますか。

She always looked, but never really was, happy.

難しい語は使われていませんね。あなたはどう理解しましたか。正しい訳についてぜひ、英語科教員に話しかけて確認してください。(◎)

③の**英作文力**についてですが、これは中学3年生の教科書レベルの英文が必要に応じてスラスラ書けることです。それが終盤のイメージです。終盤には、英文の速読と

精読とが、両方できるようになり、中3の教科書レベルの英文がスラスラ書ける、というのが理想です。

④の**リスニング力**についてです。そもそも、リスニングの練習は、英語を聴く力を伸ばすだけではなく、速読力、英作文力にも絶大な効果を発揮します。大切なことは、音声学習なしに英語力が伸びることはありません。

車での移動中、睡眠前、家庭学習の合間の休憩中に、時と場所を選ばず学習できます。

⑤の**問題を解く力**についてですが、問題練習の裏に、その目的が本番で応用対処できるようになるためという明確な目的意識を持つことが大事です。

次に大事なことは、どんな教材・問題集であれ、完ぺきに身につくまで、反復練習することです。教材をあれこれ変えて成功した人はいません。まず一冊、完ぺきにマスターしたと言える問題集を作ることです。

**秀才だから偏差値が高いのではなく、
1冊の本を完ぺきにマスターするから
偏差値が高くなるのです。**

「音読恐るべし！反復恐るべし！」 この心構えが自信につながります。

**どんなに偏差値の高い人でも、
基本・標準レベルの教材を完ぺきにしている**

以上、主に『E判定からの大逆転勉強法』から紹介しました。

次号予告 1. 数学の勉強法 2. 志望校別勉強時間の割合 掲載予定です。

教室にある『蛍雪時代』を読んでいますか



GW どう過ごしますか

お知らせ 早朝放課後講座の申し込みが5月8日(木)までになりました。